

議会だより 吉野ヶ里

23号

平成24年
3月定例会



東脊振小学校入学式
(1年3組の皆さん)

- 平成24年度一般会計当初予算 2-3
- 質疑応答 4-5
- 臨時会・定例会議案 6
- 意見書・議長交際費 7
- 議案賛否状況 8
- 一般質問 9-19
- 議会視察研修・編集後記 20

【編集・発行】

佐賀県吉野ヶ里町議会

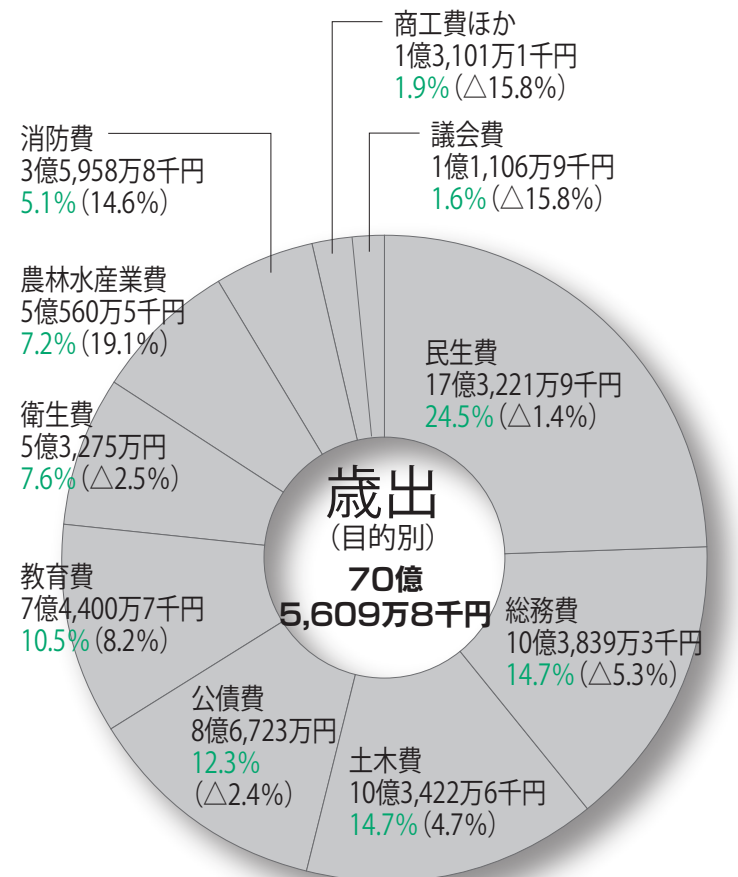
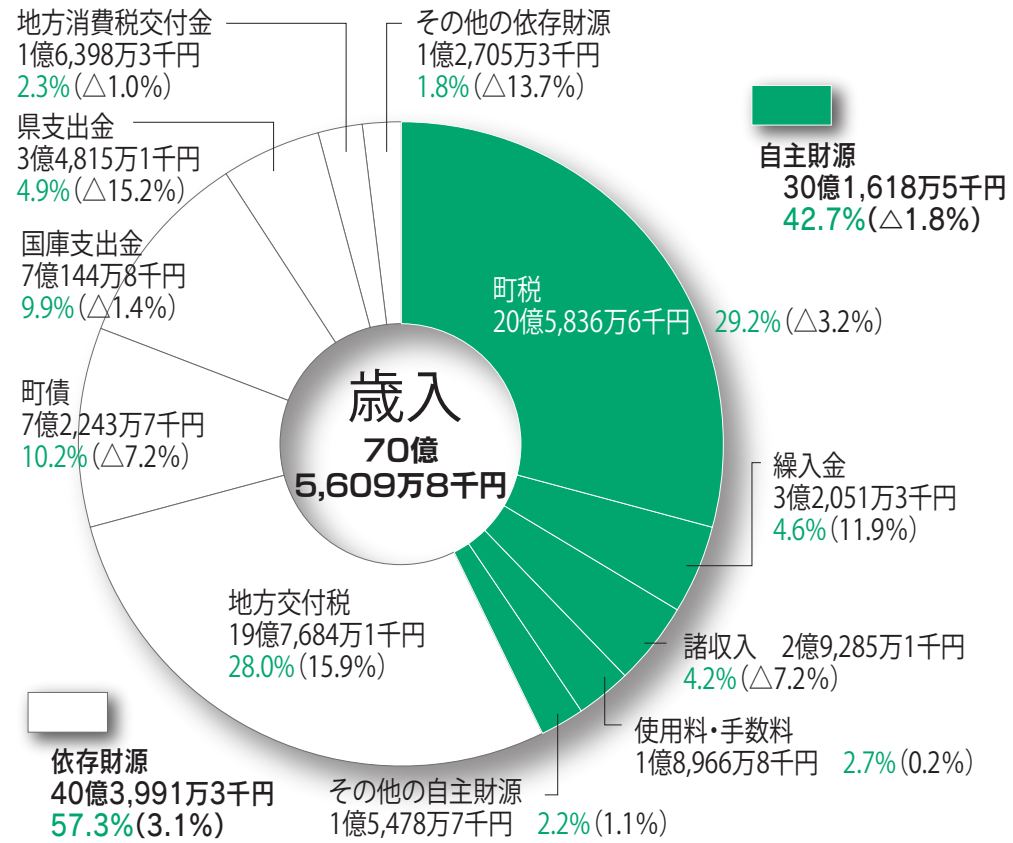
佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田321-2
TEL 0952-37-0338

【印刷】ビッグサム ティー&ビー【発行年月日】平成24年5月2日

議会会議録がインターネットで見られます。

吉野ヶ里町のホームページ <http://www.town.yoshinogari.saga.jp/>
にアクセスし「吉野ヶ里町議会」「吉野ヶ里町議会会議録」をクリックしてください。

平成24年度一般会計予算 70億5,609万8千円



平成24年度会計別予算	
一般会計	70億5609万8千円
国民健康保険	16億9089万7千円
下水道	8億8560万円
簡易水道	271万1千円
後期高齢者医療	1億4945万8千円

『予算特別委員会』

平成24年度吉野ヶ里町一般会計予算と特別会計予算4件の審査は、3月5日の議会定例会において予算特別委員会に付託された。

予算特別委員会は3月7日、8日の2日間にわたり審議し、原案通り可決すべきものと決定し報告された。

賛成討論要旨

平成24年度一般会計予算の総額は、前年度の最終予算額と比較すると4億9592万6千円の減である。

1、地方交付税

基準財政需要額の法人税が前年度は不況により減収になったとはいえ、平成23年度最終予算額との比較で2億1412万3千円増額計上されているが心配であり早期精査が望まれる。

2、労働費県補助金

緊急雇用創出事業交付金が前年度の6分の1と大幅に減額され、1096万6千円計上されている

が、過去3年間実施した行政サービスや生活環境整備の低下にならないよう配慮すべきである。

3、地区掲示板設置事業

各地区80力所への掲示板設置に、1280万円の支出は高額すぎる。

合併市町村補助金ではあるが予算執行は設置内容等を再考すべきである。

4、新エネルギー

ビジョン事業

太陽光発電設備工事が児童体育館(三田川中学校)、工事設計委託料で児童館180万6千円、三田川庁舎に180万円計上されているが、庁舎への設置より吉野ヶ里町地域新エネルギービジョンに基

づいた木質、竹質等の農業系バイオマスエネルギー政策実現に努力すべきである。

5、子どもの医療費助成、家庭教育支援員基金

平成23年度に、新制度で特定防衛施設周辺整備調整交付金として3487万円交付されることになり、町は一時的な受け皿としての基金設置は理解するが、恒久財源としての施策を早期に構築すべきである。

6、住宅用LED照明購入費補助、住宅リフォーム緊急助成事業補助金

これらの事業は広く町民に啓蒙すべきである、LED照明補助は省エネ対策を啓発する国策であり、追加補正しても推進すべきである。

7、夢ロマン軽トラ市

県の緊急雇用創出観光費450万円が夢ロマン軽トラ市のPR委託料に全額支出は多額すぎる、県補助金も長くは続かない、将来的に自主運営で

きるよう指導し、経済効果も数値化すべきである。

8、三大祭り

脊振千坊聖茶まつりはマンネリ化している、天候対策に配慮した企画が望まれる。

夏ふれあい祭りは自衛隊との共同開催を取り止め、田手川河川敷での開催に戻すべきではないか、町長の英断が望まれる。

9、温浴施設2期工事

山茶花の湯2期工事基本・実施設計委託料で736万2千円計上されているが、なぜ温浴施設維持管理基金の取り崩しではないのか。

水源地域活性化検討委員会において、多くの見直し事業を答申されている、整合性が取れないのではないのか。

10、道路新設改良工事

町道8路線の改良工事、舗装工事が計上されているが、次年度まで放置することなく早期発注、年度内完工を目指し努力すべきである。

11、総合文化センター

建設

施設の内容、建設場所、検討委員会、アンケート調査等一向に進展しない、入口議論ばかりではいつまでも実現しない。一度リセットし、新たな発想で執行部と議会の集中審議の場を設けてはどうか。

12、指定管理者制度

さざんか千坊館、東脊振温泉は指定管理者としての評価はできるが、NPO法人による吉野ヶ里公園駅コミュニティホールや社会福祉法人によるふれあい館の委託は直営となんら違いがなく成果が上がっていない。

企業努力を促し指定管理者制度に沿った管理運営を心すべきである。

13、合併特例債、水源地域振興基金

合併特例債活用期限は平成27年度までで、借入限度額54億円のうち、20億1千万円が活用済、基金造成限度額11億円のう

ち3億8千万円が積立済、活用については賛否両論あるが長期総合計画後期計画に組み入れるべきではないか。

水源地域振興基金の活用期限が平成29年度までで、基金55億円のうち約31億4千万円が未執行である、総合文化センターを初め水源地域活性化検討委員会提言された事業を早急に具体化すべきである。

14、シブルミナム

自治体が住民のために保障しなければならないとされる最低限度の生活環境基準シブルミナムの観点から、一般会計予算の普通建設事業を分析すると東脊振校区約4億6千万円(うち、水源地域振興事業約2億7千万円)。

三田川校区約6億円でダム関係の事業を除くと、1億9千万円対6億円である、これで均等なシブルミナムが遂行されているか疑問である。

平成24年度
一般会計予算

質 疑 応 答

歳入関係

Q 町たばこ税が1億3296万円、禁煙が増えるなかで前年度に比べ1843万円増加しているが理由は。

A 税務課長 売上本数は減ったが、税率が昨年10月より上がったため。

Q 東脊振温泉入湯税が972万2千円と、前年比99万6千円減額されている、今年リニューアル計画があり増額は見込まなかったのか。

A 税務課長 これまでの実績で見積もった。リニューアルは平成24年度には間に合わない。

Q 地方交付税19億7684万1千円で、

前年比2億7165万4千円の増となっているがその理由は。

A 財政課長 基準財政需要額、収入額の計算により、その差額が普通交付税である。

今回は法人税が大きく落ち込んだため交付税が増となった。

Q 地方交付税に合併特例債分はどのように算入されるのか。

A 財政課長 合併特例債対象事業の95%を充当しその元利償還金について元利分の70%を算入することになっているので約13の補助率となる。

Q 保育所保護者負担滞納繰越261万1千円と滞納が前年より増えている、60万円以下の低額訴訟の行政の手法は簡単に出来るし議会

の議決も不要、行うべきではないか。

A 町長 理解を求め行っていく。

Q トムソーヤの森の使用料が年々減っている、町内の子供クラブ等の活用を考えるべきではないか。

A 副町長 何とかしなければと、若手職員に研究させている。

Q 武道・ダンス指導推進事業県委託金25万6千円、教える先生はいるのか。

A 教育長 平成24年度から武道・ダンスは必修となる、東脊振中学は剣道、三田川中学は相撲を行う。

Q 県委託事業は、東脊振中学がダンスの先進校として研究するため。佐賀県住宅リフォーム緊急助成事業

補助金2038万円の内容は。

A 都市計画課長 平成23年度は64件であったが、平成24年度は100件を予定している。

歳出関係

Q 長期総合計画の後期計画基礎調査委託料180万円の内訳と、委託でなく手作り出来ないか。

A 町長 調査の集計や分析は、今の陣容でやるのは難しい。

Q 企業誘致推進費22万円は前年比17万1千円の減、積極的に活用し雇用の場を確保すべきではないか。

A 町長 2月は各企業を回った。

Q 町歌楽譜製作委託料52万円、町音頭PR業務委託料52万5千円も必要なのか。

A 企画課長 楽譜製作は、コーラス用、プラスバンド用などパートごとに作成する必要がある。

Q 巡回バス運行補助金1751万2千円平成23年度ダイヤ変更後の利用は。

A 企画課長 平成23年度は各路線244日運行、需要が伸びていない。

Q 長寿祝い金、節目ごとに支払う意味はあるのか。

A 福祉課長 以前は75歳以上全員に支払っていたが、現在75歳、77歳、85歳、88歳、95歳、100歳に決めている。

Q 福祉タクシー利用料金助成81万2千円、現在の利用状況は。

鍼灸・あんま助成、利用が少ないなら別の方法として、温浴施設利用の

ある。



▲早期改良が望まれる三田川小学校前道路

Q 教材器具購入でデジタル教科書220万円とあるが内容は。

A 学校教育課長 電子黒板の中に組み込まれる、教科書の内容ソフト2校分である。

Q 平成23年度は総合文化センター予算で150万円の予算執行ができず減額された、平成24年度の計画は。

A 町長 場所の問題で異論が出た、議会終了後に議会の意見を集約しないと仕事ができない、議論を深めていく。

Q 中央公園野球場工事は、甲子園並みに出来ないか。

A 社会教育課長 フォーン、芝生など一部改修である。

A 町長 検討する。

A 保健課長 受診率は、40歳から69歳までと70歳以上に分けると胃がん検診5.3%、8.5%。大腸がん検診5.9%、11.6%。肺がん検診8.8%、16.4%。子宮がん検診1.9%、1.1%。乳がん検診1.8%（40～49歳）、3.1%（50～69歳）、1.5%（70歳以上）。

Q 健康診断委託料879万円、昨年より減額された、受診率は如何ほか、受診率を上げることが健康づくりと考えるか。

A 健康診断委託料879万円、昨年より減額された、受診率は如何ほか、受診率を上げることが健康づくりと考えるか。

Q ニック部会補助金が昨年47万円で今年は8万円の減額、特産品吉野ガーリック育成を行政はもっと行うべきではないか。

A 農林課長 部会で色々努力してもらっている。

Q 指定管理者制度導入施設事業評価策定業務委託料53万2千

Q 短期入所生活援助（ショートステイ）事業委託19万1千円の内容は。

A 福祉課長 親の入院等による児童の短期入所費で今年度より予算化、委託は基山町の社会福祉法人「洗心会」を予定。

Q 神埼・吉野ヶ里地区葬祭公園整備促進協議会負担金50万円の内訳は。

A 企画課長 神埼市と協議会を設置、視察研修と計画予定地の説明ができる図面作成までを予定している。

Q ニック部会補助金が昨年47万円で今年は8万円の減額、特産品吉野ガーリック育成を行政はもっと行うべきではないか。

A 農林課長 部会で色々努力してもらっている。

Q 指定管理者制度導入施設事業評価策定業務委託料53万2千

円、誰が行うのか。

A 商工観光課長 事業計画策定業者を指名競争入札により委託したい。

Q 温浴施設第2期工事設計委託料755万円の内容は。

A 商工観光課長 休憩室の増築、家族風呂増設、トイレ増設、岩湧きの湯を循環湯に変更、瞑想の湯を垂風呂の湯に改修など考えている。

A 副町長 議会と十分に協議したうえで設計に入る。

Q 温浴施設のポンプは12月に故障し取り換えたばかりではないか。

A 商工観光課長 源泉ポンプ401万1千円は予備ポンプとして必要である。

Q 軽トラ市450万円の内容は。

A 商工観光課長 人件費322万円、車借上げ56万7千円、広報54万円、チラシ等10万5

千円、看板4万2千円等である。

Q 猪防護柵設置工事費943万3千円、内容と設置場所はどこか。

A 農林課長 ダム事業により平成22年度より3年計画で実施、総額3364万5千円で84.3%の進捗率、三津地区、石動地区は農業再生協議会より防護柵を現物支給。

Q 防衛施設周辺道路整備事業費6535万6千円の内容と全体構想は。

A 建設課長 三田川小学校南からスーパーモリナガまでが防衛省のレスキュー道路として認可された。

Q 事業総額10億円、約40戸の家屋があるが、防衛省からは5年をめに完成するよう言われている。

A 町長 防衛省は5年というが予算配分は難しい、意気込みは

第1回臨時会

平成24年1月18日に臨時議会が開催された。

第1号議案

平成23年度農業集落排水事業箱川地区機能強化対策工事請負契約の締結について

工事場所
吉野ヶ里町箱川地内
契約金額
3,006万円(消費税込)
契約相手方
福岡市博多区博多駅前2丁目
扶桑建設工業株式会社
九州支店

第1回定例会

3月定例会は3月5日より16日までの12日間で開催され、31議案を審議した。

条例関係

主な条例は
○吉野ヶ里町暴力団排除条例
佐賀県暴力団排除条例の施行に伴い、町の責任において取り組む。
○吉野ヶ里町家庭教育支援員設置基金条例
特定防衛施設周辺整備調整交付金を充てる
○吉野ヶ里町子どもの医

療費の助成基金条例
特定防衛施設周辺整備調整交付金を充てる
○吉野ヶ里町課設置条例の一部を改正する条例
都市計画課を廃し、建設課に統合する。
○吉野ヶ里町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例(3件)
●特別職の職員で報酬月額が58,000円と定められているが、会議等3時間未満の場合3,000円

●体育指導委員をスポンサー推進委員に改める。
●国民健康保険税等徴収委託員報酬をこれまでの基本給と歩合給で支給を月額14万8,900円に改める。
○吉野ヶ里町税条例の一部を改正する条例(2件)
●法の改正によりたばこ税の税率千本につき4618円を5262円に改める。
●固定資産評価員に税務課長を充てる。
○吉野ヶ里町公民館条例の一部を改正する条例
●公民館運営審議会の委員は、学校教育・社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動者、学識経験者に委嘱する。
○児童福祉法第56条による費用徴収に関する条例の一部を改正する条例
●所得税額計算で平成22年度税制改正における扶養控除見直しでの影響を生じさせないため

○吉野ヶ里町国民健康保険高額療養費貸付基金条例の一部を改正する条例
●資金貸付に伴う要件に「ただし、特に町長が認めた場合は、この限りではない。」を加える。
○吉野ヶ里町営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例
○吉野ヶ里町営住宅管理条例の一部を改正する条例
●二つの条例改正は、地域の自主性及び自立性を高め、改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い改正
請負契約の締結
○吉野ヶ里町児童体育館大規模改修建築工事請負契約の締結について
契約金額 1億2,041万4千円(消費税込)
契約相手方 吉野ヶ里町大曲 牟田建設株式会社

道路認定

○吉野ヶ里町道路線の認定について
路線名 吉野ヶ里公園北口線(起点国道385号南部共乾北から西へ790m神埼市境まで)
幅員 9.75×12m



▲吉野ヶ里公園北口線

人事案件

○吉野ヶ里町固定資産評価審査委員会委員の選任について
任期 平成24年5月9日～平成28年5月8日(4年間)
大曲 福島義治 氏
吉田 小池喜治 氏
石動 井上富雄 氏
吉田 伊香賀敏孝氏

○吉野ヶ里町教育委員会委員の任命について
任期 平成24年5月19日より平成28年5月18日(4年間)
石動 小松義明 氏

補正予算

(専決処分)
○平成23年度吉野ヶ里町一般会計補正予算(第5号)
●日本消防協会特別表彰受章に係る経費の補正756千円
○平成23年度吉野ヶ里町一般会計補正予算(第6号)
●歳入歳出それぞれ6千338万2千円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ6千338万2千円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ75億5,202万4千円とする。
※年度末の3月に予算減額が多すぎる12月議会です、ある程度の整理をするよう指摘された。

意見書を提出しました(要旨)

戸別所得補償制度の見直し等農業政策の立て直しを求める意見書

1. 「農業者戸別所得補償」は名称の変更を含め、国民の理解が得られるような制度とすること。
2. 政権交代直後に大幅に削減された農業農村整備事業及び強い農業づくり交付金などに十分な予算を復活すること。
3. 計画的な食料自給率の向上や農地の規模拡大など、目指すべき政策目標を明確にし、計画的に実現できるように予算編成・執行をすること。

意見書提出先

内閣総理大臣、農林水産大臣、財務大臣、
国家戦略担当大臣、内閣官房長官

公務員の人件費に関する意見書

1. 人事院勧告を実施した上で、東日本大震災の復興財源を確保するために給与削減の「深堀り」を行う国家公務員給与引き下げ法案を早急に成立させること。
2. 公務員給与の引き下げと公務員組合に対する協約締結権の付与は連動させないこと。
3. 給与引き下げにあたっては、地方公務員にも波及するよう努めること。
4. 政府が提出を検討している「行政構造改革実行法案(仮称)」において、地方公務員の人件費削減について具体的な数値目標を盛り込む等、国に地方の行革に対する決意を示すこと。

意見書提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、
行政改革・公務員制度改革担当大臣、
総務大臣、財務大臣、国家戦略担当大臣、
内閣官房長官

年金制度抜本改革の全体像を早期に公表することを求める意見書

政府は税と社会保障の一体改革に強い意欲を示しているが、肝心の年金制度の抜本改革については、全体像が明らかになっていない。政府・民主党は平成21年の衆院選公約(マニフェスト)で「年金一元化」「月額7万円の最低保障年金の創設」を掲げた。ところが、政権交代から2年6ヶ月が経過しても、依然として最低保障年金に必要な財源や、年金一元化に向けた具体的な制度設計は依然として明らかになっていない。政府の、税と社会保障一体改革素案では平成25年の通常国会に法案を提出するとしているが、全く内容が不透明なままでは来年の通常国会に提出される見通しが立たず、「新たな年金制度創設のための法律を平成25年度までに成立させる」との、マニフェストの実現は全く目途が立っていない状態となっている。

(中略)

「税と社会保障の一体改革」と言うのであれば、消費税の増税案と年金制度の改革は一体で論議されるべきであり、全体像が明らかにならないままでは、国民が消費税増税に納得しないことは言うまでもない。

よって、吉野ヶ里町議会は、政府に対して年金制度抜本改革の全体像を明らかにするよう強く求める。

意見書提出先

内閣総理大臣、社会保障・税一体改革担当大臣、
厚生労働大臣、財務大臣、国家戦略担当大臣
内閣官房長官

公的年金2.5%の引き下げに反対する意見書

1. 公的年金の2.5%削減は行わないこと。

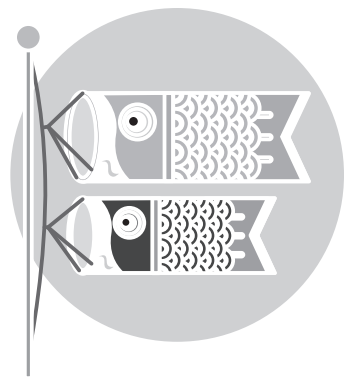
意見書提出先

内閣総理大臣、厚生労働大臣

平成23年度 議長交際費を公表します。

項目	内容	件数	金額(円)
予算			200,000
慶祝	記念式典等	3	20,000
渉外	負担金、視察研修土産等	5	19,990
弔慰	旧町村議員供花等	5	67,250
支出計			107,240
予算残			92,760

※平成24年度議長交際費予算 190,000円



問 今、社会的プ
ムとなっているポ
イント制、知らず知ら
ずポイントが貯まりそれ
を使って、商品を購入し
たり、景品をもらったり
できる。
これを活用し、本町が
行っている事業やイベン
トに活用できないか。
まず、リサイクルセン
ターの実績、重量、売却
額及び脊振共同塵芥処理
への負担金の軽減推定額
はいくらぐらいになるか。
答 環境課長 資源物
回収実績は表のと
おり、脊振共同塵芥処理



筒井佐千生 議員

年度	資 源 物	t 数	売却額
平成18年	新聞、その他紙類、段ボール、紙パック、アルミ缶	167.6t	346千円
平成19年	〃	189.1t	840千円
平成20年	〃 シュレツダー、ペットボトル(7月より開始)	204.0t	1,987千円
平成21年	〃 スチール缶、古着(1月より開始) 南部回収所開設(5月より開始)	220.0t	1,402千円
平成22年	〃	258.0t	3,429千円
平成23年	〃 12月までの回収	207.9t	3,035千円

組合負担金を1t当たり
に重量換算して、回収実
績で推定すると平成22年
度では約860万円の軽
減額となる。

問 緊急雇用交付金
事業がなくなるが、
リサイクルセンターの雇
用はどうされるのか。
答 環境課長 平成24
年度より、町の一
般財源で今までと同じ3
名雇用である。
問 平成22年度は、
売却益と負担金減
を合わせると1201万
7千円にもなる。
臨時職員を増員し、力
を入れたらどうか。
答 環境課長 一般財
源の予算範囲内の
3名体制でいきたい。
問 合併後の文化講
演会、演者の講演者名、
講演料及び入場者数の割
合は。
答 社会教育課長 平
成22年度よりアン
ケート調査をし平成22年
度町内75%、町外25%、

年度	講演者名	講演料	入場者数
平成19年	古川 貞次郎氏	475,230円	360人
平成20年	荒木 由美子氏	923,370円	600人
平成21年	島田 洋七氏	1,260,000円	700人
平成22年	草野 仁氏	1,479,700円	600人
平成23年	乙武 洋匡氏	1,398,700円	930人

平成23年度町内70%、町
外30%で、講演者名簿は
左記の通りである。

問 平成20年度迄は、
予算額120万円
で、平成21年度より
150万円となった。
誰がどのように決めて
いるのか。

答 社会教育課長 ジ
ヤンル、アンケー
ト結果を見ながら、町長、
教育長で決めている。
問 高額になりつつ
あり、入場料を取
る考えはないか。
答 社会教育課長 受
益者負担の原則で
一部負担を求めることは
妥当であるが、立見席の
方からは入場料は取れな
い、今後、施設の充実が
求められる。
問 財政面、受益者
負担を考え取れる
ような取り組み、(ホー
ル以外の部屋にモニター
で流し席数を増やす、入
場制限をかける等)をす
ればできると思う。
そこで、入場料はリサイ
クルセンターに持ち込
んだ資源物をポイント制
にし、入場料にあてたり
入場の優先権をあたえれ
ばよくないか。
答 環境課長 リサイ
クルセンターに常
時職員がいないので持ち
込みの把握が難しい。

年度	予算	決算
平成18年	26,127,000	22,869,000
平成19年	26,696,000	19,761,885
平成20年	22,187,000	17,768,679
平成21年	23,860,000	20,111,912
平成22年	28,282,000	21,167,675
平成23年	26,618,000	

問 施政方針で、各
種がん検診等の受
診率向上を図るとあるが、
全く改善されていない。
ポイントを与える事で
受診率向上につながるの
ではないか。
答 保健課長 ポイン
ト制が町全体での
取り組みを目指す場合は、
対象事業の一つとして検
討していく必要があると
思う。

答 社会教育課長 今
後は有料化する場合
には、ポイント制の普及
が前提となる。
問 検診の予算額及
び決算額は。
答 保健課長 左図の
通りである。

吉野ヶ里町版ポイント制導入の考えは

【保健課長】町全体の取組みを目指す場合は
検討していく必要がある

町政へ物申す次頁から一般質問に11人が激論

3月 定例会 1月 臨時会 案件賛否状況

第1回臨時会		第1回(3月)定例会																														
平成二十三年 度農業集落排水事業箱川地区機能強化対策工事請負契約の締結について		公的年金2.5%の引下げに反対する意見書																														
		年金制度抜本改革の全体像を早期に公表することを求める意見書																														
		公務員の人事費に関する意見書																														
		戸別所得補償制度の見直し等、農業政策の立て直しを求める意見書																														
		吉野ヶ里町教育委員会委員の任命について																														
		吉野ヶ里町固定資産評価審査委員会委員の選任について																														
		吉野ヶ里町固定資産評価審査委員会委員の選任について																														
		吉野ヶ里町固定資産評価審査委員会委員の選任について																														
		吉野ヶ里町固定資産評価審査委員会委員の選任について																														
		平成二十四年度吉野ヶ里町後期高齢者医療特別会計予算																														
		平成二十四年度吉野ヶ里町簡易水道特別会計予算																														
		平成二十四年度吉野ヶ里町下水道特別会計予算																														
		平成二十四年度吉野ヶ里町国民健康保険特別会計予算																														
		平成二十四年度吉野ヶ里町一般会計補正予算																														
		平成二十四年度吉野ヶ里町一般会計補正予算																														
		平成二十四年度吉野ヶ里町後期高齢者医療特別会計補正予算(第二号)																														
		平成二十四年度吉野ヶ里町下水道特別会計補正予算(第四号)																														
		平成二十四年度吉野ヶ里町国民健康保険特別会計補正予算(第四号)																														
		平成二十四年度吉野ヶ里町一般会計補正予算(第六号)																														
		吉野ヶ里町道路線の認定について																														
吉野ヶ里町児童体育館大規模改修建築工事請負契約の締結について																																
吉野ヶ里町営住宅管理条例の一部を改正する条例																																
吉野ヶ里町国民健康保険事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例																																
吉野ヶ里町国民健康保険高額療養費貸付基金条例の一部を改正する条例																																
児童福祉法第56条による費用徴収に関する条例の一部を改正する条例																																
吉野ヶ里町公民館条例の一部を改正する条例																																
吉野ヶ里町税条例の一部を改正する条例																																
吉野ヶ里町税条例の一部を改正する条例																																
吉野ヶ里町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例																																
吉野ヶ里町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例																																
吉野ヶ里町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例																																
吉野ヶ里町課設置条例の一部を改正する条例																																
吉野ヶ里町子ども医療費の助成基金条例																																
吉野ヶ里町家庭教育支援員設置基金条例																																
吉野ヶ里町暴力団排除条例																																
専決処分の承認を求めることについて【平成二十三年度吉野ヶ里町一般会計補正予算(第五号)】																																
平成二十三年度農業集落排水事業箱川地区機能強化対策工事請負契約の締結について																																
結 果	可決	承認	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	
表決数	14 0	14 0	14 0	14 0	14 0	14 0	14 0	8 6	14 0	14 0	14 0	14 0	14 0	14 0	14 0	14 0	14 0	14 0	14 0	14 0	14 0	14 0	14 0	14 0	14 0	14 0	14 0	14 0	14 0	14 0	14 0	
吉富光三郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
馬場 茂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
多良 正裕	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
古川 輝英	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
古川 勲	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中島 哲夫	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伊東 健吾	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伊東 和孝	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
筒井佐千生	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
手塚 隆美	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
多良 光英	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
城島 敏行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中島 正晴	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
立石 良雄	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大隈 正道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※議席番号順

○=賛成 ●=反対 欠=欠席

※議席番号順

○=賛成 ●=反対 欠=欠席

消防団対策 立野地区の水利をどう考えているか

【町長】消防団 地元と今後の対策について協議を進めていきたい



馬場 茂 議員

問 今や吉野ヶ里町最大の住宅密集地区だが、残念な事に消防に適した自然水利が近くに無い。

答 消防栓は17箇所、防火水槽が10箇所（内企業分4）あるが、一度に開ければ水圧は低下し、水槽もポンプ2台で20分もたない、しかも地区の北部に集中しているので増設できないが。

問 総務課長 南部には水利がないとの事だが、クリークの水路には冬場も水を確保している。

答 消防栓、水槽については地区からの要望も出ていないが、区長、消防団から現状を聞きながら進めていきたい。



▲立野地区の航空写真

水を吸いあげやすいためポンプにも良くない。上中杖上、荅野地区に設置している送水管は、考えられないか。

答 総務課長 自然水利からの送水管だと思うが、場所の問題もあるので協議しながら検討したいと思う。

問 日頃から、ヘリの騒音に悩まされている第一種区域、防衛省の補助等も優先的に使った設備を整えてもらいたいと思うが。

答 町長 防衛省の事業を活用し、特に駐屯地との連携も考えながら検討したい。

問 総務課長 定数に努力して毎年新入団員を勧誘しているが大変苦労している。

答 総務課長 定数に努力して毎年新入団員を勧誘しているが大変苦労している。

問 総務課長 定数に努力して毎年新入団員を勧誘しているが大変苦労している。

答 総務課長 定数に努力して毎年新入団員を勧誘しているが大変苦労している。

問 総務課長 定数に努力して毎年新入団員を勧誘しているが大変苦労している。



▲消防団訓練風景

機能別団員導入は

問 団員のサラーマン化が進み、昼間の火災時に人員不足で出動に支障が出ている。

答 総務課長 消防団員との関係や、災害時にうまく機能するかなどの懸念の声もある。

問 総務課長 消防団員との関係や、災害時にうまく機能するかなどの懸念の声もある。

答 総務課長 消防団員との関係や、災害時にうまく機能するかなどの懸念の声もある。

問 総務課長 消防団員との関係や、災害時にうまく機能するかなどの懸念の声もある。

議し、団員歴、年齢、報酬、人員数等をきちんと定めれば、消防団強化になるのではないか。

答 総務課長 式典等に出なくていいため消防団員が移行する事が懸念されるが、今後消防団と協議を進めていく。

問 県では東日本大震災を踏まえ、国に先駆けて「地域防災計画」の見直しを行った。

答 総務課長 昨年実施された県の防災訓練後、本町の訓練をどうするか考えているが、未だ煮詰まっていない。

問 区長会、消防団と協議していく。

答 町長 消防団、地区との連携を考えながら、消防団員への負担軽減もあるので、通常訓練等と同時に取り組める様な対応を検討していきたい。

佐賀東部土地改良区国営賦課金平成24年度から10ルア当たり北部1700円 南部1500円負担増となるが

【町長】町財政を考え検討する



伊東 健吾 議員

問 建設基本構想の進捗状況は、用地の決定、計画面積またア

答 建設基本構想の進捗状況は、用地の決定、計画面積またア

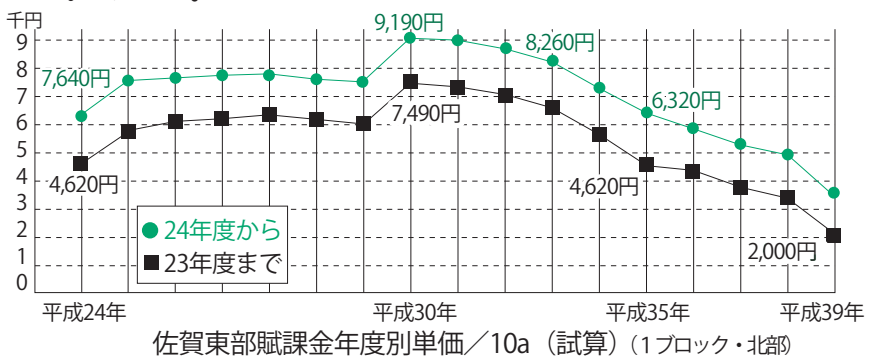
問 建設基本構想の進捗状況は、用地の決定、計画面積またア

答 建設基本構想の進捗状況は、用地の決定、計画面積またア

問 建設基本構想の進捗状況は、用地の決定、計画面積またア

問 佐賀東部土地改良区、町土地改良区の滞納金について今後どのように考え、受益者負担についてどう処理されるのか。

答 土地改良事業の受益を受けず、負担金・賦課金などをこれから払い続けなければならない、農家所得半減のとき町の助成はできないか、平成24年度より賦課金が10ルア当たり北部1700円、南部1500円の増となるが、町長 農家負担が増えている現在、町の財政を考え検討する。



佐賀東部賦課金年度別単価/10a (試算) (1ブロック・北部)

問 計画の図書館書籍数は4万5000冊、閉架書籍1万5000冊他、町の図書館は500m小、15万冊、閉架書籍5万冊である、計画構想がおかしいのでは。



▲仮称文化センター
旧東脊振村の第1候補計画区域

問 財政課長 平成27年度まで15億円借入の予定、交付税算入予定内訳は作っていない。

答 財政課長 平成27年度まで15億円借入の予定、交付税算入予定内訳は作っていない。

傷んでいる道路の維持補修はどう対応しているか

【建設課長】 職員の巡回 住民の通報により 把握し補修している



中島 哲夫 議員

問 町道の各所でくぼみや穴ぼこが見られ傷みが激しい、特に交通量の多い路線は、くぼみが随所に見られ白線も消えかかっている。幼児、高齢者、自転車にとっては危険である。安全性を確保すべきと思うが町の計画は。

答 建設課長 本町の道路の総延長は延べ140kmになる。建設課職員が毎日道路を巡回している。職員からの通報、区長、住民、通勤者からの通報により、すぐ危険個所に出向き補修材で応急措置をしている、補修箇所が広範囲に及ぶ場合は補正予算や次年度当初予算に計上して対応していく。なるべく補助事業にのせたい。

問 国道沿いには景観上、安全上歩道には植栽が施されているが、車目線では見通しが悪いところもある。通学路などの所要場所には一定の高さを保ち、早めに剪定して安全性を図るべきでは。

答 建設課長 国道に關しては国が管理しているの佐賀国道事務所と連携を取っている、適正な高さを保つよう要望し、管理者に適正な管理をお願いしている。



▲傷んだ道路

問 現在発行している税の納付書の活字はあまりに小さい、特に名前の印字は3ミリ位で読みづらい、もっと大きくできないか。

答 税務課長 活字が小さく読みづらい部分もあるが鳥栖市を含めた近隣市町は全て同じ様式である。活字の大きさも同一であり活字を大きくすることによって様式サイズも変わってくる。町単独での納付書となると単価も高くなり町にとっても多額の経費が必要となる。現在のところ納付書の変更は考えていない。

問 近年喫煙者を取りまく状況は益々厳しくなり、決して好ましい眼では見えてもらえない、病院、学校など全どの施設では禁煙となっている、しかし喫煙者があるのも事実で現に町には毎年約1億3千万円前後のたばこ税収入がある。この様ななか本町の各施設内外での分煙体制はどのようになっているか、また大きな大会、行事の際はどうか。

答 総務課長 両庁舎共1階2階に喫煙所を設置、屋外にも数カ所の喫煙所がある。

答 社会教育課長 町民体育大会、成人式、文化祭、文化講演会の際



▲三田川庁舎喫煙所(屋外)

問 学校施設を利用しているの各種大会、行事の際、橋上で大勢の喫煙者が見られる、子供達の目のつかない場所を確保できないか。

答 教育長 学校敷地内では一切喫煙できない、喫煙光景を目にしたことがある、子供の教育上、通行上も問題があるので改善していきたい。

文化センター建設 住民アンケートを実施すべきでは

【社会教育課長】 建設検討委員会でアンケートは取らないと決定された



城島 敏行 議員

問 文化センター建設計画は住民アンケートをとり、参考にすべきだと思うが、建設計画が住民に周知徹底していると思っているのか、私に聞こえてくるのは、① 新しい施設を建設するより、既存施設の稼働率を上げることに、真剣に取り組んでほしい。② いままでの情報は、建設しなければ損ばかりの内容に見える。③ 高齢化が進む一方、医療、福祉対策へ有効に活用してもらいたい。④ アンケート調査を参

答 社会教育課長 文化センター建設検討委員会の会議のなかで議論されたが、アンケートは取らないとされた。

問 文化センター建設予定地は、旧東脊振村の住民の方々が望んでいた予定地であるのか、また、旧三田川町の中間に建設をすれば、両方に言い訳がしやういと考えたのではないか。

答 吉野ヶ里町住民の方々は行政をしつかりと見ている。故に、既存の施設の稼働率を上げる要望や、次世代に維持管理費等の負担を残すなど未来の吉野ヶ里町を考えている。

問 文化センター建設予定地は、旧東脊振村の住民の方々が望んでいた予定地であるのか、また、旧三田川町の

答 行政は、吉野ヶ里町住民の方々に目を向けアンケートを



▲誰が望んだ建設予定地か

センター建設計画があり、合併の引継ぎ書にもあり、計画を引継ぐために、総合計画、基本計画ができて、事業遂行のため予算を上げ、建設検討委員会で審議を行ってきた。議員も信念を持って賛成、反対をしてもらいたい。

その他の質問
① 租税、使用料の徴収と未納対策について。
② 就学前の幼児教育への取り組みについて。

下水道と農排の接続計画 進捗状況は

【環境課長】 平成26年度開始
平成27年度までに処理場増設を終了予定である



吉富 光三郎 議員

問

平成24年度の町長施政方針でも述べられた、下水道の充実と安定した維持管理、公下水道と農業集落排水施設との接続に向け関係機関との具体的な協議に取り組みとあるが今後の町下水道事業、農業集落排水事業について下水道と農排の接続計画、進捗状況はどうなっているのか。

答

環境課長 佐賀県下水道課へ九州農政局との事前協議のために接続計画書、スケジュール等の資料提出している。進捗状況は県下水道課と九州農政局が協議され農林水産省への検討段階である。

問

北への延長計画、進捗状況はどうなっているのか。

答

環境課長 公共有水道事業区域の全体計画を来年度から見直す、東部中核工業団地以北への延長計画について、延長計画についてもその時に見直す予定である。

問

農業集落排水処理施設、前川地区、横田地区、西部



▲山茶花の湯 下段の町有地

地区の接続後の活用方法はどうか考えるのか。

答

環境課長 決定もしていない段階であくまで案であるが、公共性の高い活用方法、横田施設は町のほぼ中心地にあり、町リサイクルセンター、前川施設は災害時備蓄品倉庫、西部施設は文化財倉庫など公共福祉面で検討したい。

町有地の活用について

問

永山災害の際、ガレキ置き場として

て利用された温浴施設山茶花の湯、下の2箇所の町有地について今後の活用はどう考えているのか。

答

企画課長 旧東青振村の時から懸念事項であり、温浴施設と連携し、相乗効果が得られるような施設整備を模索していたが、有効な施設を見出せないまま現状に至っている。

この事に関して今年度水源地域活性化検討委員会を開催した、委員会で農林産物加工所や観光農園などの案があり、現在は候補地の一つという現状である。

問

次年度以降、委員会報告書をもとにアドバイザの提言を参考とし、温浴施設と連携した地域住民にとって、より具体的な効果的な整備の検討を進めていく考えである。うきは市は、平成20年4月福岡県初「森林セラピー基地」認定（全国でも38カ所のみ）され、平成7年から

「つつら棚田彼岸花めぐり」実施と「スアルファ」で森林と棚田を組み合わせたウォーキングコースを設定、平成21年4月29日開け、つつら棚田の散歩道を気軽に体験できるツアー「森林セラピーウォーク」を実施されておられ、ウォーキングでの昼食、地元女性たちの手作弁当「森林セラピー弁当」、レストランでは「森林セラピーランチ」、地元の食や体験、また宿泊も堪能されており、棚田や森林のウォーキング発想が新しい山村振興と観光産業の活性化にも繋がっている。

答

我が町も、宿泊施設、農林産物加工所をただつくるとではなく、自然という宝があります。文化庁の歴史の道百選に選定された筑前街道跡を活用したウォーキングプランなど今後、温浴施設と連携した考えはどうか。

問

町長 課題も多いが検討していく。

葬祭公園建設問題について

【町長】

神埼市と葬祭公園建設促進協議会を立ち上げ進めて行きたい



立石 良雄 議員

問

みやぎ町しらせ墓苑加入についてみやぎ町長はいつも窓口を開いて待っていると言っているが、本町はみやぎ町へどの様な働きかけをしてきたのか。

答

神埼市、吉野ヶ里町の建設計画があるが費用負担と他の葬祭公園組合への加入一時金を比較してやるべきで、このことが利用料金にも反映される。

合併特例債で試算すると15億円借り入れた場合、利率3%5年据置25年償還、起債充当率95%

総合文化センター建設問題について

問

総合文化センターは、旧東青振村時代、右肩上りの経済成長期に五ヶ山ダム関連の振興策で文化センター構



▲葬祭公園予定地となった(元)伊の助開発の土取り場あと

想が浮上した。

人口問題研究所によると、近い将来65歳以上の一人の高齢者を15歳から64歳までの生産年齢の一人が支える肩車時代になると公表した、箱物建設は次世代に借金と維持管理費を残すことになる。

町長も建設検討委員会も時代錯誤も甚だし

い。

町長 後世に引き継いで行くのも私の責任である。

問

総合文化センター建設検討委員会

「つつら棚田彼岸花めぐり」実施と「スアルファ」で森林と棚田を組み合わせたウォーキングコースを設定、平成21年4月29日開け、つつら棚田の散歩道を気軽に体験できるツアー「森林セラピーウォーク」を実施されておられ、ウォーキングでの昼食、地元女性たちの手作弁当「森林セラピー弁当」、レストランでは「森林セラピーランチ」、地元の食や体験、また宿泊も堪能されており、棚田や森林のウォーキング発想が新しい山村振興と観光産業の活性化にも繋がっている。

答

我が町も、宿泊施設、農林産物加工所をただつくるとではなく、自然という宝があります。文化庁の歴史の道百選に選定された筑前街道跡を活用したウォーキングプランなど今後、温浴施設と連携した考えはどうか。

問

町長 課題も多いが検討していく。

問

町長 建設検討委員会に直接言ってください。

町道 学校・吉田線旧道の不法建築物撤去問題について

問

不法建築物について、当時弁護士から「早くした方がよい」と指導を受けながら現在まで何の手も下さずにいるのは町長と執行部の失態である。

町長は責任と権限において早急にやるべきであり契約違反を放置したことで隣接地権者はここ10年間、農作業や通学に大変な不便をかけられながら、だまって辛抱されている。

平成24年10月31日の契約期限前に町長は、どのような対策や指導を講じられるつもりなのか。

答

町長 裁判にならないように解決して頂くように期待する。

問

社会教育課長 建設検討委員会の意向として今後も公開しないということである。

統合中学校の考えは

【教育長】学校教育のあり方が変わりつつあり
総合的に検討したい



伊東 和孝 議員

問 毎年、小学6年生、中学3年生を対象に実施されている、全国学力調査の結果をふまえて本町の学力はどのような状況にあるのか。

答 学校教育課長 全国学力調査は、国語、数学の知識、技能面を測るA問題と活用を測るB問題の4領域で行っている。本町の特徴として①国語に比べて数学の伸び悩みが明らか②学力の二極化が生じている③知識面より活用面の学力不足④不十分な家庭学習⑤基本的な生活習慣は中学生より小学生に課題がある。



▲中学校授業風景

問 平成23年度は数学の学力差が広がっている原因としては、両中学校とも39人、40人の大規模学級を3年間続けざるを得なかったからと考えられる。

答 学校教育課長 統合中学校については、各学年の生徒数も増え、競争心も増し、学力向上にも期待が出来るし、生徒間でも旧町村意識もうすれ、町民融和が図れると思う。

問 学部の対応策は実施されているか。

答 教育長 現在国語に關しては、全校において漢字テスト等を行い優秀な生徒は表彰している、今後数学に關しても校長会等で検討し重点教科としていきたい。

問 統合中学校について平成19年9月議会的一般質問で、町長は議論を高め検討したいと答弁された、合併の最大の目的は行財政改革であり、学校の管理費等を考えれば人口1万6500人の本町において、中学校は1校あれば十分である。

問 東脊振小学校前の不用品収集所の不用品収集所は現在のままで良いのか、町長のスローガンである安心で安全な町づくりからみると問題ではないか。

答 東脊振小学校前 通学路であり突風、地震電巻



▲東脊振小学校前 不用品収集所

新宮田踏切 立体交差（高架）にできないか

【企画課長】事業採択基準や費用等で難しい



手塚 隆美 議員

問 平成34年ごろ全線開業する整備新幹線長崎ルートは現在の進捗状況は。

答 企画課長 佐賀県内で3本のトンネル工事、長崎県で7本のトンネル工事が行われ本格的に事業進捗が図られている。

問 全線新規格「フル規格」での工事はできないか。

答 企画課長 在来線を活用したフリーゲージトレインを走らせる計画で全線フル規格化の検討はしていないとの

問 鹿兒島ルートは在来線の上を走る全線フル規格である、近隣市町と協議し要望活動してはどうか。

答 町長 私も同意見であり、県議会議員も一部の国会議員も同意見である。

問 町内ルートで道路との立体交差（高架）はできないか。

答 企画課長 踏切道の除去を伴う立体交差は、事業採択基準を満たしていないことや事業費が高いことで事業化はむずかしい状況である。

問 町内ルートで道路との立体交差（高架）はできないか。

答 企画課長 踏切道の除去を伴う立体交差は、事業採択基準を満たしていないことや事業費が高いことで事業化はむずかしい状況である。その中で「賢い踏切」の設置を要望している。

問 町内を走る国道385号線は高架で安心して通行できる、そこで町道大曲、目達原線「新宮田」踏切を高架に出来ないか、また目達原駐屯地にお願いし実現できないか。

答 建設課長 新宮田踏切は事業採択基準を満たしていないし事業費の負担が大きい、今後防衛省に要望していく。

問 町内道路の整備について石動、目達原線の整備を早急に。

答 この路線はインターから学校橋を通り畑刈で合流する道路で国道385号線の交通量緩和や旧東脊振から目達原への買物、久留米等へ通勤に大事な道路である、また目達原の活性化にも大事で早急な



▲鉄道の高架が期待される新宮田踏切

問 整備が必要であるが。

答 建設課長 現在大曲目達原線、大塚ケ里新宮田線は整備を行っている、石動・大曲線は次年度整備する。

問 大曲目達原線は整備を行っている、石動・大曲線は次年度整備する。

答 建設課長 補助金の中では防衛省補助金が最高で、次に合併特例債等である。

問 大曲目達原線は整備を行っている、石動・大曲線は次年度整備する。

問 大曲目達原線は整備を行っている、石動・大曲線は次年度整備する。

答 建設課長 補助金の中では防衛省補助金が最高で、次に合併特例債等である。

問 大曲目達原線は整備を行っている、石動・大曲線は次年度整備する。

答 建設課長 補助金の中では防衛省補助金が最高で、次に合併特例債等である。

問 農業問題についてジャンボタニシ対策として町は、薬剤「スクミノ」に1袋500円補助を行っている。

答 農林課長 前年同様に対応する。被害を減らすためには、足りない場合は補正予算で対応する。

問 農業問題についてジャンボタニシ対策として町は、薬剤「スクミノ」に1袋500円補助を行っている。

答 農林課長 前年同様に対応する。被害を減らすためには、足りない場合は補正予算で対応する。

約2億の用地費等と7200万円を投資した「めいぶつ館」 今後の運営は

【商工観光課長】公募で進めているが確定的ではない



多良 正裕 議員

問 めいぶつ館の管理をNPO弥生吉野ケ里が行っているが、用地取得から今日までの経緯と経費はいくらか。

答 企画課長 平成15年度に用地費（約2500㎡）と補償費合わせて2億円でふれあい交流広場として取得。

答 商工観光課長 平成21年度ふれあい交流広場の舗装整備と設計工事費約3000万円。平成22年3月「めいぶつ館」開館、NPO弥生吉野ケ里により観光コンシェルジュ事業



▲有効活用が望まれる「めいぶつ館」

問 めいぶつ館の来客数が極端に少ない、町民からお陀仏館とまで言われている、行政はこのようになるまでなぜ放置していたのか、また今後の運営計画は。

答 商工観光課長 観光コンシェルジュ事業は、地域観光ガイドやアンテナショップ等を

通し事業モデルを構築し最終的には民間事業者へ移管する計画であり、売上や集客向上を目指すものではない、今後の管理運営は公募を進めている。

問 生産者には農産物の出荷をお願いしながら販売が目的ではなかったの売れなくても事業には関係ないという姿勢が、生産者離れや顧客の減少になった。

答 町長 結果的にNPOは出来なかったが遊休地の土地利用は国の事業で活性化を図ってきた、管理については委託しており行政指導すべきではないと考える。

問 めいぶつ館は、現在のプレハブでなく間伐材で建直し、道の駅機能を持たせ所期の目的を果たすべきである。現在駅コミュニティホールは指定管理者としてNPO弥生吉野ケ里が

年間約1千万円で受けているが、特急が日に一回だけ停車する駅舎管理でなく、公園入口の一等地にある現在のめいぶつ館を拠点に佐賀県東部の観光ガイドやアンテナショップとしての運営はどうか、これまで同様場当たり的なにならないよう町長は取り組むべきではないか。

答 町長 今までもそのつもりでやってきたし、今後も行っていく。

ダム関連事業の取り組みが遅いが

問 ダム関連事業の取り組みが遅い、町長は中山間地の振興に関心がないように映る、文化センターばかりでなく、中山間地振興と豊かな自然を守る努力を地元の方々の対話の中で行うべきではないか。

答 町長 永山地区は各地区にも出向している。きすぎる建設規模、など到底容認できる内容でない、今後町長の言う反対する議員の一人として、多くの町民の皆さんの声を代弁し、しっかりと意見を言い続ける。

答 町長 進まないのは、一度原点に戻り、住民アンケートを取り民意を聞くべきではないか。

答 町長 進まないのは、多良議員が足を引っ張るからである。

ロタウイルスワクチンの助成制度は

【保健課長】国の補助や近隣市町の動向を見て考える



古川 勲 議員

問 子育て支援策は、①現金給付や税控除など金銭的援助

②雇用と育児時間の同時保障

③保育園など託児インフラ整備が、金銭的援助より託児サービスなどの充実度が出生率に与える影響が強いと、OECDの研究結果がでている。昨年七月に厚生労働省が承認した、「ロタウイルス胃腸炎」の予防ワクチンの現状について、種類と発売状況は。

答 保健課長 一価と五価ワクチンの二

種類があり、一価は昨年11月から、五価ワクチンは販売準備中である。

問 ワクチンの接種時期と接種回数は、保健課長 生後6週から接種可能で、一価ワクチンは2回、五価ワクチンは3回接種となっている。

問 ワクチンの効果と安全性は、保健課長 ロタウイルスによる嘔吐下痢症を防いだり、重症例を約90%減らすことができ、WHOも子どもの最重要ワクチンに指定している。

問 接種費用はどの程度かかるのか。保健課長 一価ワクチンは、1回当たり1万3000円から1万5000円と聞いて

いる。

問 ロタウイルス胃腸炎は抗ウイルス薬ではなく、治療は水分や電解質を補う対処療法であり、水分補給や汚物処理に追われる親の負担も大きい、国内の治験では、ロタウイルス胃腸炎を79%予防し、重症例を92%防ぐ効果が認められている、任意接種のため費用はすべて自己負担である。

問 個人負担3割になるよう接種助成制度の創設はできないか。保健課長 衛生上は死亡例が少なく国の補助や近隣市町の動向を見て考える。

問 助成制度を創設した場合の経費はどのようになるのか。

答 保健課長 その年の出生者全員がワクチン接種し、一人の費用を2万8000円とすると年間最高476万円の経費となる。

問 現在学童保育は小学3年生までが対象となっているが、保護者が安心して仕事ができるよう、利用対象年齢を6年生まで引き上げできないか。

答 福祉課長 平日の利用について、低学年の利用が多く両施設での受け入れが困難なため実施していない。保護者にアンケート調査をし検討する。

問 学童保育に関する職員の資質向上のため、学童保育指導員養成講座が開催されているが参加されているか。



▲町を担う子どもたちのスタート

答 福祉課長 指導員のほとんどが保育士・幼稚園・養護教諭の有資格者であるが、子供の心と体の健康、安全管理等のためにも指導員の研修会参加を促し資質の向上に努める。

問 出生祝い金の支給は、第一子、第二子は2万円、第三子以降は10万円となっているがこれを一律支給とし、各種ワクチン接種助成や幼児、学童保育の充実を図ることができないか。

答 福祉課長 子ども手当の支給との関連、子ども医療費助成の実施等を踏まえて今後検討していく。

問 人口減少や少子化の解消には、子育て支援の充実があると考え、「子育て支援日本一の町」を目指してはどうか。

答 町長 子育て支援の充実は重要な問題と考えるので、議会とも充分協議して進める。

議会運営委員会視察研修報告

長崎県時津町

議会運営委員会委員6名と事務局1名で2月8日と9日、長崎県時津町議会と議会運営のあり方について研修を行った。

時津町は人口約3万人の町で大村湾の南西部に位置し、長崎市に接しており、現在は長崎市のベッドタウンとして人口が急増した町である。

長崎市との合併を断ち、平成19年に議会改革の一環として20議席を16議席に議員定数の削減が行われた。

議会のあり方、運営のあり方について色々と意見交換を行い、大変参考になる話を聞くことが出来た。

その後、時津町自慢の文化センター「カナリーホール」の視察研修を行った。

民俗資料館と児童館を併設した建物であり、大ホール770席、50人収容のホール1室、練習室3室

を持つ総工費32億円の立派な建物であり、隣の長崎市からの動員客を意識したものであった。

平成14年5月に開館され年々客数が伸び、平成22年度は年間6万9千人に達している。

しかも、町外利用率が

58・1%と驚きであり、稼働率も大ホール93・2%、練習室90・9%と、我が町としての参考にはならない感じがした。

帰りに、時津町庁舎前にて記念撮影をしたところ、笑っている銅像がなんと卑弥呼像であったのが何かの縁かと感じる研修であった。



時津町役場卑弥呼像前

議会全員協議会

議会全員協議会は毎月開催され、執行部からの協議事項や報告が行われます。

4月18日の内容

【協議事項】

- ①吉野ヶ里町東背振温浴施設の第2期工事について(商工観光課)

温浴施設は開業後5年を経過しており、来客数や売上が減少傾向にあるため、リニューアルを計画。

- ②消防東背振出張所について(総務課)

佐賀中部広域連合と神埼地区消防事務組合が平成25年4月1日より統合されるに伴い、東背振出張所が設置されることになり、現在は東背振庁舎周辺に場所選定中。

- ③総合文化センターについて(社会教育課)

平成24年4月11日の臨時全員協議会での意見集約(建設の有無、アンケート調査の有無、建設場所)

について説明と確認。

【報告事項】(概要のみ)

- ①スクールサポーター(生徒指導支援員)について(学校教育課)

いじめ、校内暴力、青少年育成、問題学生指導を担当。

- ②両庁舎の耐震診断結果について(財政課)

両庁舎とも耐震補強が必要。

- ③町歌・音頭のCD配布

各地区区長に2枚配布

- ④吉野ヶ里町総合計画審議会委員について(企画課)

平成25年度からの後期分審議会委員として議会から4人選出。

- ⑤「ミニユニティバス運行協議会委員について(企画課)

昨年(6月)のバス運行改正後1年経過し、再度検討するため議会から委員2名選出。

編集後記

桜吹雪のなか町内でも新入園児や新一年生の入園式や入学式が挙行され微笑ましい光景でした。

吉野ヶ里町議会議員も3月で選挙後2年を経過、この間議会広報特別委員会の委員として定例議会毎に町の情勢や問題を少しでも伝えようと「議会だより」を発行してまいりました、私達7名の委員での発行は今回で最後です。

振り返りますと、永山地区の土石流の災害から始まり、東日本大震災、原発に伴う放射能問題など「想定外」という言葉が身近にあることも思い知らされました「絆」の大切さ日本人の素晴らしさも再認識しました。

現在、議会改革特別委員会を設置し、新たな議会を目指しています。皆様のご協力有り難うございました。

○議会広報特別委員会

委員長 多良 正裕
副委員長 吉富光三郎
委員 立石 良雄
手塚 隆美
筒井佐千生
伊東 和孝
中島 哲夫